

Grand Sofà Developed by Vitra in Switzerland Design: Antonio Citterio, 2017

アントニオ・チッテリオは、ミラノを拠点とするデザイナーです。これまでヴィトラが協働してきた多くのデザイナーの中でも、その関係は最も長く、パートナーとして多くの名作を共に生み出し、この25年の間、さまざまなオフィスチェア、ラウンジチェアやソファから、オフィス全体の環境まで、新たな極みへと挑戦を続けてきました。2017年のミラノサローネでは、最新作「グランドソファ」を発表します。

「グランドソファ」は、アントニオ・チッテリオにより現代的に解釈された、優雅さと快適さを兼ね備えたソファです。イタリア出身のデザイナーならではの軽快さとエレガントさが、ヴィトラらしく表現されています。アントニオ・チッテリオは語ります。

「ソファをデザインする際には、人々の暮らし方についてまで考えなくてはなりません。30～40年前、ソファは主に応接室で大切なお客様をお迎えするためのものでした。1980年代、私は、ソファをよりプライベートな空間で使用するものとして再定義するため、ソファの新たな可能性を模索し、ソファを、リビングルームの中心にある、自分や家族のための『島』と捉えてみました。現代において、リビングルームは、家族がくつろぎ、それぞれの自由な時間を楽しむ場所へと変化しました。そのため、ソファには、テレビを見る、うたた寝をする、食事をするなどのあらゆる用途に応える柔軟性が必要とされるようになったのです。」

「私達は、家具メーカーであるヴィトラのDNAを大切に、現代の暮らしに合った、シンプルで組み合わせの自由なソファを作りたいと考えました。そのため、支えられる部分と支える部品がそれぞれの機能に応じて明確に分かれている、モダニズム的な手法を取り入れました。」

グランドソファは、直線的で幾何学的なラインにより、シート部分にゆったりとしたスペースが広がり、一方で、生地をまとったスリムなシルエットは、上品ですっきりした印象を与えます。シート四隅と背もたれの下、ニヶ所のブリッジ状のアルミニウムのフレームに支えられ、まるで床から浮いているかのように見えます。その軽やかなデザインと、好みの長さの背もたれを選ぶことができる自由さがグランドソファの魅力です。

「ソファは、本体とクッションにより構成されています。45年前、ソファのデザインを手掛けるようになった時から、私はそのようにソファを捉えていました。この構造は極めてシンプルであり、本質的なポイントです。私は長年に渡り、ソファの変化を見てきましたが、本質的な構造をもつソファこそが、昔から現代まで名作として名を馳せてきたのです。」

このソファの特徴のひとつである背もたれは、ソファの背後から腰掛けたり、パソコンを置いて布張りのデスクとして、また本や雑誌、インテリア雑貨などを置く棚としても使えます。更に、メガネや飲み物、花瓶などをちょっと置いておくことができる付属品のソファトレイは、ソファの側面に沿った絶妙な角度でデザインされ、裏返しにすれば、柔らかいソファの上でも作業をしやすいフラットテーブルとしても使用できます。

グランドソファは、色とりどりの多彩なファブリックから張り地を選ぶことができます。背もたれやクッションのバリエーション、アルミポリッシュが白と黒のパウダーコーティングの中から選択できるベースなど、これらの豊富なオプションは、ソファという存在に更なる自由さと無限の可能性を与えています。

Vitra(ヴィトラ)について

1950 年創業のスイスの家具メーカー。世界的なデザイナーの創造性と自社の開発力によって製品とコンセプトを生み出し、そのデザインの力を通してホーム、オフィス、公共スペースの空間の質の向上に貢献。またヴィトラキャンパスにおける建築やヴィトラデザインミュージアムでの展示、ワークショップ、出版物でも知られ、多様な側面を有しています。

www.vitra.com

お問い合わせ:

Vitra 株式会社

マーケティング & PR

金子・森崎

Naoko.Kaneko@vitra.com

Kuniko.Morisaki@vitra.com

TEL 03 6868 7875